

而して遂に全従業員は職工總代全体會議の名に於て統一され且つ舊社民系の団体と完全に提携して一致した行動を採るに至り、一月末より數回に亘つて既に約九十名の陳情員を上京せしむる等本運動の大勢を支配してゐる。

尙一方舊勞大黨や國社黨に於ても夫々黨員並に所屬組合員を動員して反對運動を開始してゐる、即ち舊勞大黨系は合同絶對反對を叫び勢ひセネストを目標とするが如く見受けらるゝに對し、國社黨は軍部方面に向つて働きかゝるが如く、何れも夫々相異なる運動方針を示してゐるが、兩者共其の勢力は到底大勢を動かす得ないとは言へ其の言論の自ら過激なるは注目すべきである。

かゝる三派各様の運動は八幡市會にも反映し、同市會に於ては政民兩黨と舊社民系議員とは單に合同反對を唱へ若しも合

同案が提出されて議會を通過せんとする場合には轉して最も有利なる條件を確保せんとするに對し、舊勞大黨や國社黨は絶對反對を主張し悉て相譲らず、遂に陳情委員は前者所屬の議員十名（民政四、政友三、舊社民三）を二月一日夜上京運動せしむることゝなつたので、合同案の議會提出期切迫を傳へらるゝと共に、専ら提案の阻止に努むるの必要上今や本運動の中心は中央に移りたるが如き觀あり。

然しながら八幡市に於ては中央に於ける陳情團と相呼應して日夜對策を練りつゝあり。且つ製鐵所に於ては本運動の銚先が製鐵所當局に向けられてゐないだけ當局の態度は工場内の秩序を紊さざる限り自然傍觀的とならざるを得ない關係にあり、未だ従業員の作業状態は平常に異なるところなしとは雖も全従業員に依つて揚げらるゝ反對氣勢は演說會、宣傳ビラ其他に依り日一日と白熱化せんとしつゝありて、中央の情勢は